

## プラント状況確認結果(平成27年7月7日～平成27年7月14日)

平成27年7月14日  
福島県原子力安全対策課

○ 平成27年7月7日～平成27年7月14日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

⇒ 平成27年2月24日、福島第一原子力発電所において、高濃度の放射性物質を含む雨水がK排水路から港湾外へ流出していたとの報告を受けました。詳細についてはこちらをご覧ください。

⇒ 平成27年2月22日、福島第一原子力発電所の構内側溝排水放射線モニタにおいて、警報が発生し、警報値を超える放射性物質を含む水が港湾内に流出しました。詳細はこちらをご覧ください。

### (1) プラント状況(7月14日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 <sup>※2</sup>
原子炉 <sup>※1</sup> (核燃料)	冷却	注水量 (m <sup>3</sup> /h)	4.4	4.4	4.3	—
		圧力容器 下部温度(°C)	25.1	31.4	28.9	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 <sup>※3</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> )(A系)	0.95×10 <sup>-3</sup>	検出限界未満	検出限界未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系)(体積%)	0.00	0.02	0.05	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	27.5	26.9	25.0	23.3

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧下さい。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 保安規定に定める制限値は、1 Bq/cm<sup>3</sup>以下である。

### (2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(7月14日午前10時)

最小 1.010(MP-6)～最大 3.630(MP-3) マイクロシーベルト/時 →[計測地点の地図](#)

### (3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果(7月13日採取分)

最小 検出限界未満(物揚場前海水、6号機取水口前海口、港湾口)  
～ 最大 75(4号機スクリーン海水) Bq/ℓ

### (4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果(7月13日採取分)

5,6号機放水口北側に30m : 0.50 Bq/ℓ  
1～4号機放水口から南側に1.3km : 検出限界未満 ※検出限界値は0.71 Bq/ℓ

### (5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果(7月13日採取分)

西門 : 検出限界未満 ※検出限界値は約1×10<sup>-7</sup> Bq/cm<sup>3</sup>

### (6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果(7月13日採取分)

最小 検出限界未満(3,4号機)～最大 240(2号機) Bq/ℓ

(問い合わせ 024-521-1917)